

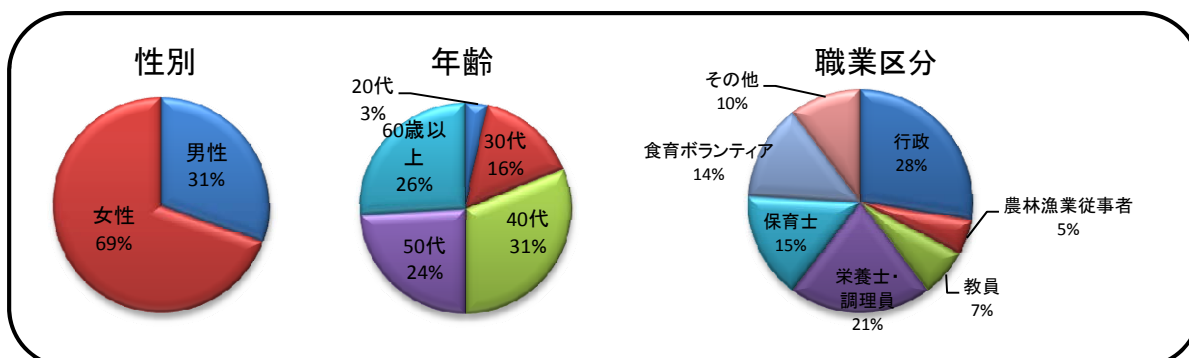
中国・四国地域「食育フォーラム」アンケート結果

日時：平成25年6月17日

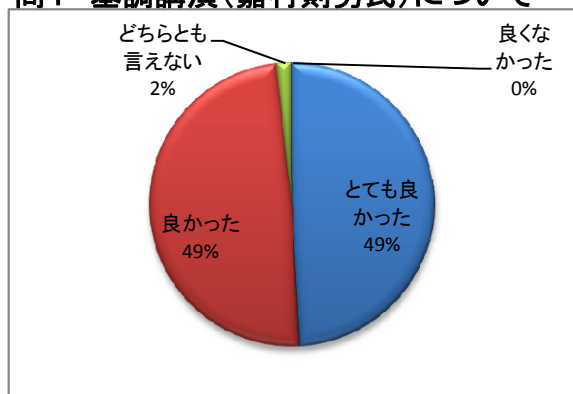
場所：岡山国際交流センター「国際会議場」

回答数：59名（参加者76名：回収率78%）

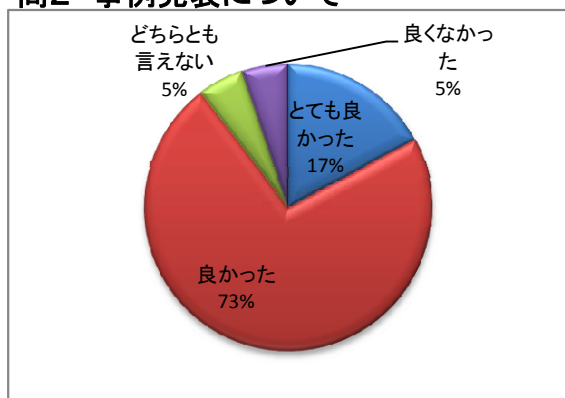
□属性区分



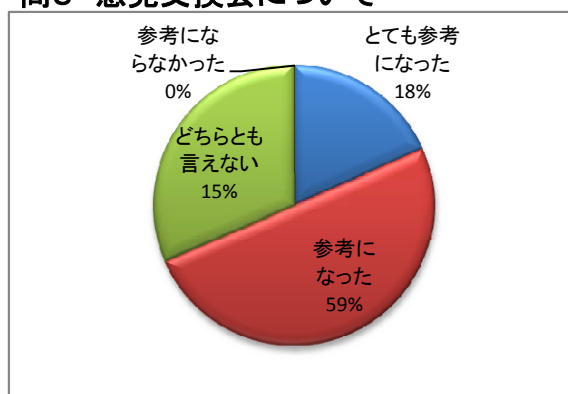
問1 基調講演(嘉村則男氏)について



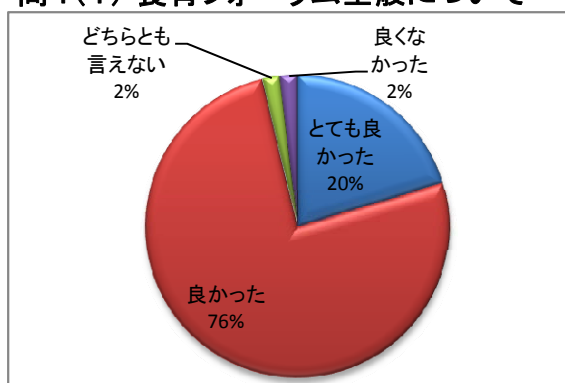
問2 事例発表について



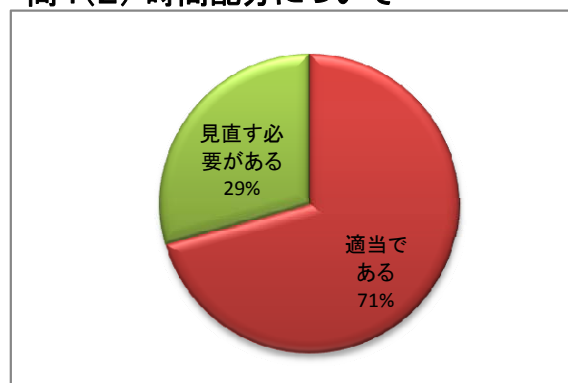
問3 意見交換会について



問4(1) 食育フォーラム全般について



問4(2) 時間配分について



□食育フォーラム全般についての意見

- ・ やっていく上でいろいろな問題はあるそうだが、理念、目標をちゃんと持った人がやっていけば、とてもいいやり方ができそうだった。(栄養士・調理師)
- ・ 食の大切さを体験を通じて学ぶことができる活動の実践例を聞いて良かったです。(栄養士・調理師)
- ・ 農業体験事業がこんなにあるとは思いませんでした。子どもたちの生き生きとした体験の様子に心が和みました。(主婦)
- ・ 自らに対する意識付けの意味からも大変勉強になる。何かしなければとの思いを強くした。(農林漁業従事者)
- ・ 食育にかかわる人の横のつながりがもっと必要と感じます。(農協職員)

□基調講演に関する意見

- ・ 子どもにはプロセスが大事、大人は結果を求める・・・これが分かっているとこれからいろいろなことに生かせると思いました。(栄養士・調理師)
- ・ 練りに練った戦略と、ゆるぎない理念が成功に導くのだなあと感じました。子育てをする母としても大変考えさせられることが多く、勉強になりました。(行政)
- ・ 食育活動の巾(効果)の広さを再確認させられました。実体験をどう実施するかが大切で、そこには理念が必要と同感です。(農協職員)
- ・ 今活動していることに対し、原点に立ち帰り、見直すきっかけになりました。(食育ボランティア)
- ・ 一過性のイベントで終わるのではなく、生きた体験学習になるような食育が大事なんだと学習しました。(栄養士・調理師)

□事例発表に関する意見

- ・ 農業体験、ふるさと体験で食の大切さや環境問題について考え直すよい機会となるので、よい取組だと思いました。私も体験してみたいと思いました。(栄養士・調理師)
- ・ 近代化が進む社会の中で、いかに“ふるさと”を体験させていけるかを考えさせられました。(保育士)
- ・ 農業や食育の体験を通して、食の大切さを多くの人に広げていきたいという気持ちを感じることができた。(保育士)
- ・ 浦田さんの発表にあった「つむぐ」っていい言葉だナーと感動した。(栄養士・調理師)

□意見交換会に関する意見

- ・ 目的と結果が一致するのに各役割とそのスタッフの連携が取れている。知らないことを素直に受けとめているのが良い。(栄養士・調理師)
- ・ 参加費の考え方について参考になった。持続可能な取組には補助金は必要。(行政)
- ・ 各事業の細かな情報をお聞きできて、大変ためになりました。(教員)

□食育の推進に関する意見

- ・ これからを考えるチャンスとして、若い人、若い親を対象として推進して欲しい。(行政)
- ・ 小さな試みをいかに広げていくかが今後の課題と考える。「一部の人が何かやっている」程度の認識しか持たれないなら「食育」の広がりには難しいと感じる。(農林漁業従事者)
- ・ 食に対する取組は社会環境や地域活性化とも深く関係する。ネットワーク会員相互の交流会や農業体験など、もっとコミュニケーションを含める体験機会が欲しい。(食品関連事業者)